



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ピーエイ

コード番号 4766 URL <http://www.pa-co-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤博敏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 阿部良一

TEL 03-5803-6318

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	683	12.9	74	0.6	85	9.7	84	△5.5
24年12月期第2四半期	605	24.9	73	—	77	—	89	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 88百万円 (△3.7%) 24年12月期第2四半期 91百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	7.90	—
24年12月期第2四半期	8.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	1,194	898	74.5	82.78
24年12月期	1,093	810	73.3	74.58

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 890百万円 24年12月期 802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	25.1	200	43.1	200	31.7	190	△14.8	17.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	11,229,800 株	24年12月期	11,229,800 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	475,447 株	24年12月期	475,347 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	10,754,362 株	24年12月期2Q	10,754,453 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の金融政策や経済対策による景気回復への期待感から円安や株価上昇もあり、着実に持ち直しの動きが見られます。

このような経営環境の下、求人広告市場につきましては、求人広告件数は前年比で増加しております。また、雇用情勢については、東北地域、関東地域、信越地域、北陸地域において有効求人倍率の改善傾向が続いており、全国値を上回って推移している状況にあります。

当社グループはこのような事業環境の下、東北地域、関東地域、信越地域、北陸地域での主力事業である紙媒体の無料求人情報誌「JOBPOST（ジョブポスト）」及びスマートフォン向けインターネットサイト「JOBPOST（ジョブポスト）web」の広告収入が増加いたしました。

4月には、富山県（富山市）及び群馬県（高崎市）において業容拡大のため新規営業所を開設いたしました。また、新たな取組みとして、東北地域、北陸地域におけるテレビCMの放映や、関東地域におけるラジオCMの放送を通じて、知名度の向上及びユーザー獲得に努めました。

スマートフォン向けインターネットサイト「JOBPOST（ジョブポスト）web」については、webプロモーションの強化により応募効果が前年に比べ1.5倍以上増加しております。今後の事業展開といたしましては、スマートフォン向けインターネットサイト「JOBPOST（ジョブポスト）web」の運用体制のさらなる強化を行い、収益増大に取り組むとともに独自のシステム構築を進めることで、商品力を強化してまいります。

平成25年4月1日において、求人広告事業に経営資源を集中するべく、生活情報等を掲載したフリーマガジン「トクピ」（新潟県版及び長野県版）の発行事業を譲渡いたしました。

東北地域、関東地域、信越地域、北陸地域における求人需要回復及び上記の新たな取組みの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高683百万円（前年同四半期比12.9%増）、エリア拡大のための営業人員の採用や広告宣伝としてテレビCMの放映等を活用したことによる販売費及び一般管理費の増加により、営業利益74百万円（前年同四半期比0.6%増）、経常利益85百万円（前年同四半期比9.7%増）、特別利益にフリーマガジン「トクピ」の譲渡益を計上した一方、法人税等が増加したことにより、四半期純利益84百万円（前年同四半期比5.5%減）となりました。

情報サービス事業

情報サービス事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は609百万円（前年同四半期比11.5%増）となりました。

i. 求人情報誌部門

東北地域、関東地域、信越地域、北陸地域においては、紙媒体の無料求人情報誌「JOBPOST（ジョブポスト）」及びスマートフォン向けインターネットサイト「JOBPOST（ジョブポスト）web」の提供をしております。

紙媒体の無料求人情報誌「JOBPOST（ジョブポスト）」及びスマートフォン向けインターネットサイト「JOBPOST（ジョブポスト）web」では、地域ニーズに即した付加価値の高いサービスを提供するとともに、SEO強化及びテレビCMの放映等、新規営業所の開設及び営業提案力の強化による営業生産性の向上に努めることで、順調に売上高が増加いたしました。

東北地域（岩手県、宮城県、福島県）では、復興需要等により有効求人数が大幅に増加しており、紙媒体の無料求人情報誌「JOBPOST（ジョブポスト）」及びスマートフォン向けインターネットサイト「JOBPOST（ジョブポスト）web」を通じて雇用創出のサポートをしております。

ii. 企業販促支援部門

連結子会社である株式会社ケータイToKuPiにおいて、店舗による顧客囲い込み等販売促進を低コストで支援するサービス「ケータイToKuPi（とくび）」を提供しております。

店舗による顧客囲い込み等販売促進を低コストで支援するサービス「ケータイToKuPi（とくび）」は、顧客のリピーター化による収益増加が期待でき、かつ低コストで簡単に導入できるサービスです。導入店舗のサポートに注力し、顧客のリピーター化の促進を支援してまいりました。

iii. モバイル求人サービス部門

連結子会社であるモバイル求人株式会社において、スマートフォンをメインデバイスとした全国求人情報サイト「Jobee（ジョビー）」を、「広告型」及び「課金型」のビジネスモデルで運営しております。「Jobee（ジョビー）」は小さい画面からでも、企業の求人情報を見やすく最適化されたデザインで提供をしております。

スマートフォン用アプリでは、iPhone App Storeの全国ランキングで「転職」キーワード検索ランキング1位及び「求人」キーワード検索ランキング3位、Google Play「仕事探し」キーワード検索ランキング6位及び「転職」キーワード検索ランキング10位と上位に表示され、ユーザーが利用しやすい環境を提供しております。

スマートフォン及びタブレット端末の利用者が急増している中、「常に身近なメディアでの情報配信」にこだわった求人情報サービスの創造、SEO強化等によるアクセス数の増加、マッチング率の向上など、一層のサービス向上に努めることで、収益基盤の強化を図ってまいりました。

人材派遣事業

連結子会社である株式会社アルメイツによる人材派遣事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は74百万円（前年同四半期比25.4%増）となりました。

新潟県内では、既存顧客を中心に積極的な事業展開に努めることで、サービス業や製造業を中心に受注が増加し、稼働率の改善が図られました。

また、宮城県内では、顧客のニーズに即したサービスの提供や季節的なスポット受注の取り込みによる対応力の強化を図り、顧客ニーズにフレキシブルに対応した事業を展開いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,194百万円となり、前連結会計年度末と比較して100百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金80百万円の増加及び受取手形及び売掛金17百万円の増加等によるものであります。一方、負債合計は295百万円となり、12百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等6百万円の増加及び預り金等の増加によるその他流動負債3百万円の増加等によるものであります。また、純資産合計は、四半期純利益の計上等により88百万円増加して898百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年2月19日に公表しました通期業績予想の変更は行っておりません。

なお、今後の経営環境の変化により、業績予想の変更の必要性が生じた場合、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	723,815	804,253
受取手形及び売掛金	119,644	136,749
商品及び製品	657	46
仕掛品	282	—
原材料及び貯蔵品	60	20
繰延税金資産	60,452	63,084
その他	13,987	20,548
貸倒引当金	△2,732	△2,832
流動資産合計	916,167	1,021,872
固定資産		
有形固定資産	56,175	55,310
無形固定資産	16,851	14,973
投資その他の資産	104,248	102,219
固定資産合計	177,276	172,503
資産合計	1,093,444	1,194,376
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,438	29,214
短期借入金	160,000	160,000
未払法人税等	5,412	11,792
その他	80,876	84,705
流動負債合計	274,727	285,711
固定負債		
退職給付引当金	2,259	2,582
資産除去債務	5,935	5,982
その他	—	1,257
固定負債合計	8,195	9,823
負債合計	282,923	295,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	514,068	514,068
資本剰余金	550,525	550,525
利益剰余金	△193,527	△108,549
自己株式	△70,981	△70,993
株主資本合計	800,084	885,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△87	△224
為替換算調整勘定	2,017	5,450
その他の包括利益累計額合計	1,930	5,226
少数株主持分	8,507	8,565
純資産合計	810,521	898,841
負債純資産合計	1,093,444	1,194,376

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	605,992	683,957
売上原価	189,598	218,166
売上総利益	416,393	465,790
販売費及び一般管理費	342,826	391,782
営業利益	73,567	74,008
営業外収益		
受取利息	588	515
受取配当金	555	62
投資有価証券売却益	622	6,605
受取手数料	925	1,974
助成金収入	1,500	3,934
その他	1,167	433
営業外収益合計	5,360	13,525
営業外費用		
支払利息	884	780
貸倒引当金繰入額	230	—
為替差損	—	1,196
その他	12	190
営業外費用合計	1,127	2,167
経常利益	77,800	85,365
特別利益		
事業譲渡益	—	10,750
受取補償金	13,624	—
その他	5	—
特別利益合計	13,629	10,750
税金等調整前四半期純利益	91,429	96,115
法人税、住民税及び事業税	1,491	9,982
法人税等調整額	△531	1,097
法人税等合計	959	11,079
少数株主損益調整前四半期純利益	90,469	85,035
少数株主利益	544	58
四半期純利益	89,924	84,977

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	90,469	85,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	738	△136
為替換算調整勘定	479	3,432
その他の包括利益合計	1,217	3,295
四半期包括利益	91,687	88,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,142	88,273
少数株主に係る四半期包括利益	544	58

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	91,429	96,115
減価償却費	5,939	5,838
のれん償却額	781	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,411	1,533
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,352	322
受取利息及び受取配当金	△1,144	△577
支払利息	884	780
投資有価証券売却損益(△は益)	△622	△6,605
事業譲渡損益(△は益)	—	△10,750
受取補償金	△13,624	—
売上債権の増減額(△は増加)	△28,973	△16,765
たな卸資産の増減額(△は増加)	143	939
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,592	773
その他	13,477	△6,100
小計	68,757	65,505
利息及び配当金の受取額	1,125	586
補償金の受取額	13,624	—
利息の支払額	△850	△777
法人税等の支払額	△3,217	△2,881
営業活動によるキャッシュ・フロー	79,439	62,433
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,231	△598
無形固定資産の取得による支出	△1,350	△1,870
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3,049	△60,679
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	13,216	66,474
関係会社株式の取得による支出	△3,232	—
事業譲渡による収入	—	10,750
貸付金の回収による収入	3,499	4,018
その他	△3,992	△3,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,860	14,889
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000	—
長期借入金の返済による支出	△17,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,000	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	349	3,116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	36,649	80,438
現金及び現金同等物の期首残高	560,772	623,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	597,422	704,253

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報サービス事業	人材派遣事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	546,058	59,735	605,794	197	605,992	—	605,992
セグメント間の内部売上高又は振替高	509	191	701	2,528	3,229	△3,229	—
計	546,568	59,927	606,495	2,725	609,221	△3,229	605,992
セグメント利益又は損失(△)	186,412	△1,980	184,431	1,552	185,983	△112,416	73,567

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、代理店業務に関わる事業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△112,416千円には、セグメント間取引消去3,838千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△116,254千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報サービス事業	人材派遣事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	609,025	74,932	683,957	—	683,957	—	683,957
セグメント間の内部売上高又は振替高	840	387	1,227	—	1,227	△1,227	—
計	609,865	75,319	685,185	—	685,185	△1,227	683,957
セグメント利益又は損失(△)	199,250	539	199,789	△1,078	198,711	△124,703	74,008

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外代理店業務に関わる事業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△124,703千円には、セグメント間取引消去4,317千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△129,020千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。